

クリーニング業における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
7	8~9	洗濯物の集荷中、階段の2階から、集荷物を投げ下ろしていたところ、投げた際に左腰に激痛が走り、そのまま動けなくなった。すぐに救援を呼び、通院することとした。	34	100~299
7	14~15	病院1F資材課にて、看護師のユニフォームを病棟ごとに分ける作業中、ハンガーラックを納品場所に持ち込み、所定の場所へ掛け替える際、元々ユニフォームがぎっしり掛かっていたため、スペースを作ろうと左手で押えながら右手で広げる動作をしたとき、右脇に骨が歪んだような痛みが生じた。	50	500~999
10	12~13	クリーニング受付店舗内で、お客様が来店したため、椅子から立ちあがろうとしたところ、バランスを崩して転倒。その際に右手をつき手首を痛めたもの。	69	100~299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html